



在宅ケアスタッフ連携アプリKURUXA(クルサ)



工学部 電子情報工学科 教授

太郎丸 眞

分野 看護理工学、医工連携

キーワード 訪問看護、訪問介護、訪問診療、位置情報系アプリ、スタッフ間連携、リスクマネジメント

概要

KURUXA(クルサ)は在宅ケア(訪問診療・看護・介護など)現場の単独では対応困難なケース(ケア利用者やその家族等からの暴力、ケア利用者の急変、訪問中の交通事故など)が生じた際、近くのスタッフに支援要請ができる位置情報系コミュニケーションアプリである。主な機能は「全スタッフ間の位置情報の共有」、「支援要請」、「支援要請先までのルートナビ」、「グループチャット」などを搭載している。



特徴、効果、独創的な点

- クローズドコミュニティで使用する位置情報系コミュニケーションアプリ
- 位置情報の共有、支援要請、支援要請先までのルートナビ、チャット

適用分野、用途

- 訪問を行う行政機関スタッフ間の連携(保健所のスタッフ、自治体の民生委員など)
- プレホスピタル時の連携(ドクターカー、救急隊、搬送先病院など)や災害派遣医療チーム間の連携
- 災害多発地域における安否確認、支援要請

論文、知的財産情報等

- 支援要請制御装置(特願2020-102107)